

ＪリーグＪ3クラブ「テゲバジャーロ宮崎」のオーナー就任のお知らせ

当社100%子会社の株式会社宮交シティは、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）のＪ3に属するクラブチームである「テゲバジャーロ宮崎」を保有し、同クラブの運営を行っている株式会社テゲバジャーロ宮崎の全株式を2023年12月13日付で取得し、オーナーシップを取得いたしました。また、当社は、テゲバジャーロ宮崎がホームスタジアムとしている「ユニリーバスタジアム新富」の指定管理業務を宮崎県新富町より受託している株式会社ライチパークの全株式も同日に取得しております。



■ オーナー就任の背景

当社は、経営理念を「日本を世界一豊かに。その未来へ心を尽くす一期一会の『いちご』」とし、日本社会の一員として、商号の由来である「一期一会」の心得のもと、この実現を最大の目標としております。また、人々の豊かな暮らしを支える「サステナブルインフラ企業」を標榜し、「サステナブル」への貢献を目指し、不動産の有効活用とエネルギー創出を軸とした事業を推進しております。

株式会社宮交シティは、宮崎県の大規模ショッピングセンター「宮交シティ」を運営しており、本年、50周年を迎えました。宮崎のサステナブルインフラを目指し、単なる商業施設にとどまらず、交通拠点、文化拠点、市民サービス拠点などとして、地域の生活に密着した事業を展開しております。

また、当社は、サステナブルインフラを目指す活動の一環として、スポーツ事業を行っております。

これまで、実業団チームとして運営しオリンピックなどの国際大会、国内有力大会において数々の実績を挙げているウエイトリフティング部、ライフル射撃部、陸上部に加え、本年度はプロ選手を迎えテニス部を発足いたしました。いずれも宮崎県を拠点にしております。また、当社は、Jリーグの「トップパートナー」となっております。Jリーグは、ホームタウンの市民・行政・企業が三位一体となった支援体制を持ち、その街のコミュニティとして発展する「地域に根差したスポーツクラブ」を目指しており、スポーツ振興に留まらず、地域と一緒に街をつくることを理念として掲げています。Jリーグの理念は、当社の事業活動との親和性が高く、当社はJリーグとともに地域の活性化に取り組むべく、Jリーグのトップパートナーとして様々なクラブと連携してまいりました。その中で、宮崎を拠点とするテゲバジャーロ宮崎のスポンサーとして、同クラブの宮崎での事業展開、スタジアム建設、ファン層の拡大などを支援してまいりました。

以上を背景とし、宮崎の持続可能性を高めるため、株式会社テゲバジャーロ宮崎の株主である株式会社エモテンと協議を重ね、全発行済株式を当社が譲り受け、「テゲバジャーロ宮崎」のオーナーに就任いたしました。

■ 今後のクラブ運営方針

いちごの経営理念、サステナブルインフラというビジョンのもと、これまでのクラブスローガンである「真摯（しんし）」を承継いたします。

地元行政、一般社団法人宮崎県サッカー協会等と強固なパートナーシップを築き、ファン、サポーター、スポンサー、ボランティア等の皆様とともに、より地域に愛される「育成型地域スポーツクラブ」を目指して経営いたします。

具体的には、いちごからテゲバジャーロ宮崎へスポーツビジネスを推進する人財を投入し、クラブの編成を充実させることにまずは着手いたします。また、選手を取り巻く強化環境を整えてまいります。

同時に、宮崎県での50年の営業で培った地元ネットワークをフル活用し、宮崎県内において事業を推進するグループ企業（株式会社宮交シティ：ショッピングセンター運営事業、いちごECO エナジー株式会社：クリーンエネルギー事業、株式会社宮崎サンシャインエフエム：FM放送事業、いちごポタジェ株式会社：農業事業）と共にシナジーを発揮することで、ファン、サポーター、スポンサーを拡大いたします。

このような取り組みを推進していく中で、いちごが重要と考えている事項は、資本政策です。いちごグループは、実質的な責任企業として永年経営してまいりますが、テゲバジャーロ宮崎が真に「地域のスポーツクラブ」として愛されるための株主構成を整えたいと考えております。「オール宮崎体制」へ移行し、宮崎の行政や財界の中心を構成する行政・企業群の持ち合いとすべく、具体的には、ホームタウン自治体と地元で事業活動を行う有力企業に増資等を引き受けていただき、地域のクラブとしての実質を備え、加わった株主の皆様にも精一杯応援をいただき、宮崎の皆様への夢、目標を実現したいと考えております。



「テゲバジャーロ宮崎」オフィシャルサイト

www.tegevajaro.com

※ 本リリースに関するお問合せ先 いちご広報担当 03-3502-4800

以 上